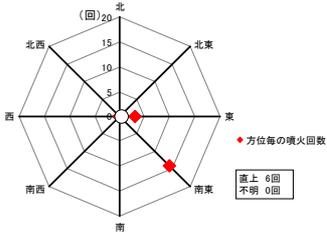
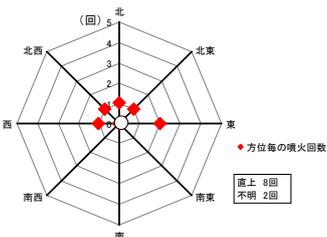
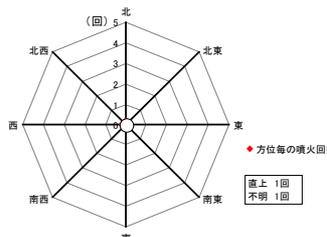


# 桜島降灰観測情報 第3号

平成 22 年 5 月 18 日 (火) 18 時  
 独立行政法人土木研究所  
 火山・土石流チーム

2010 年 5 月 18 日現在における土木研究所が桜島に設置した自動降灰量計の観測データを報告します。最近の降灰深観測データを表 1、2009 年 11 月以降の降灰深観測データを図 2 に示します。

表 1 最近の自動降灰量計観測データ

前回報告期間(1) 2010 年 4 月 27 日～5 月 3 日	前回報告期間(2) 2010 年 5 月 4 日～5 月 9 日	今回報告期間 2010 年 5 月 10 日～5 月 16 日
降灰深 <b>2.2 mm</b> 3.3kg/m <sup>2</sup> (±0.5kg/m <sup>2</sup> )	降灰深 <b>1.4 mm</b> 2.4kg/m <sup>2</sup> (±0.5kg/m <sup>2</sup> )	降灰深 <b>1.9 mm</b> 2.8kg/m <sup>2</sup> (±0.5kg/m <sup>2</sup> )
噴火回数 23 回	噴火回数 16 回	噴火回数 2 回
噴煙の流向の内訳 (回) 	噴煙の流向の内訳 (回) 	噴煙の流向の内訳 (回) 

※降灰深(mm)は単位面積当たり降灰重量(kg/m<sup>2</sup>)より次式にて換算した。

$$d = W / \rho_d \quad (\text{mm})$$

d:降灰深(mm)、W:単位面積当たり降灰重量(kg/m<sup>2</sup>)、 $\rho_d$ :火山灰の乾燥密度(g/cm<sup>3</sup>) ここでは $\rho_d=1.5$ として計算した。

※「噴煙の流向」は気象庁ホームページよりデータを収集しグラフ化したものである。なお、噴煙の流向が直上または不明のものはグラフ表示の対象外とした。



図 1 自動降灰量計設置位置図



写真 1 自動降灰量計の外観

(北緯 31° 33' 57.28"、東経 130° 40' 49.24")

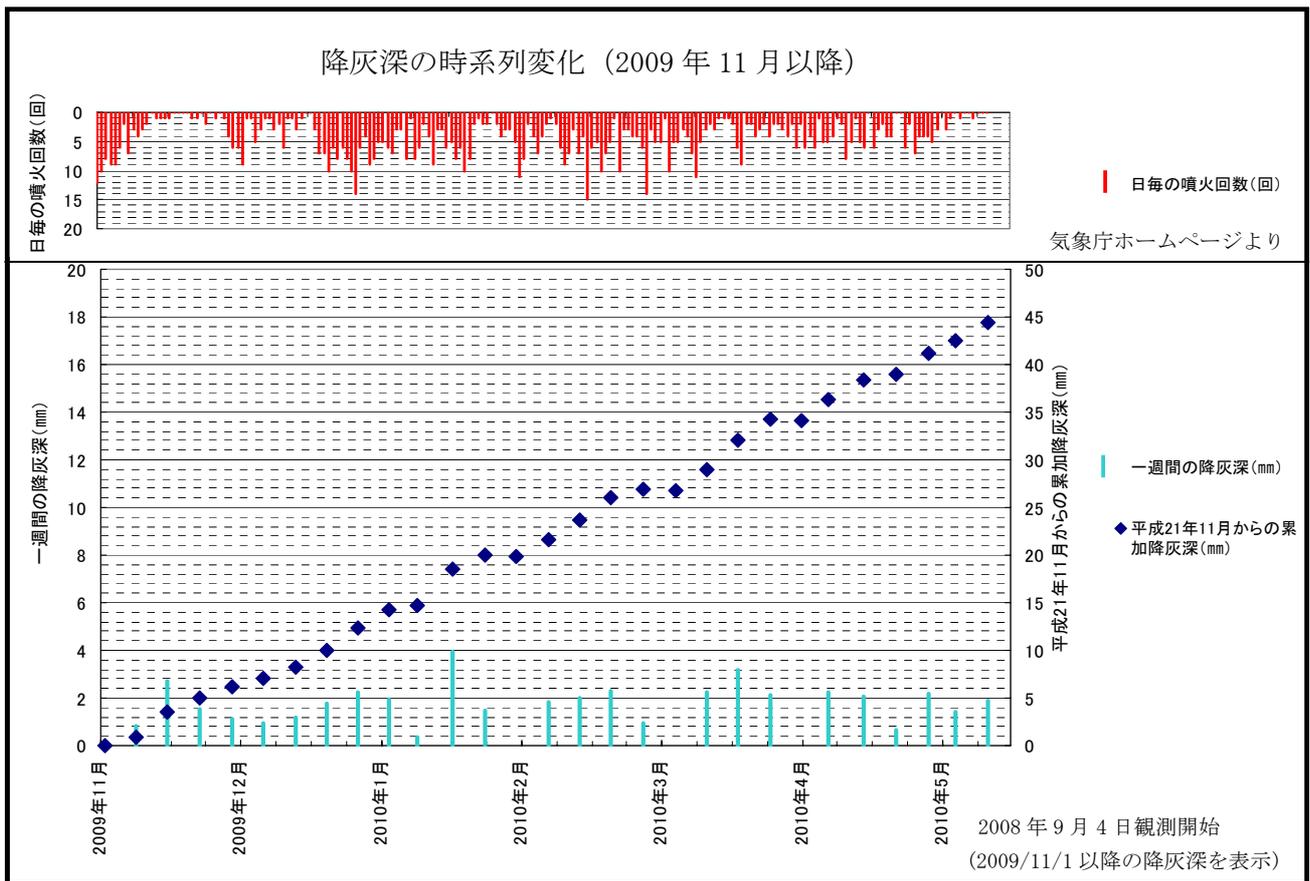


図2 2009年11月以降の降灰深の推移

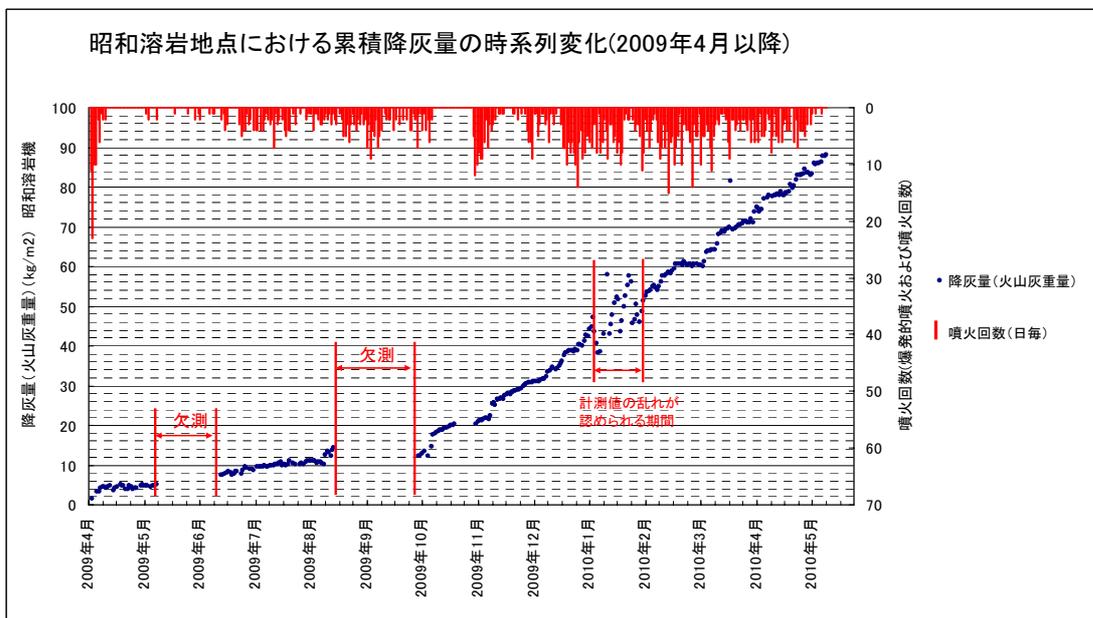


図3 自動降灰量計による降灰量の推移 (2009年4月～2010年5月)

降灰量が増加すると土石流が頻発する傾向があります。土石流の発生と降灰の関係については国土交通省砂防部ホームページをご参照下さい。

<http://www.mlit.go.jp/river/sabo/sakura.html>

平成21年の桜島土石流と火山活動について(2010/03/01)

※次回の降灰状況に関する情報は、5月24日(月)15時頃の予定です。